



# 学校だより

登校わくわく 学校いきいき 下校にこにこ

千葉市立千草台東小学校

No.6 (10月号)

令和7年 10月 15日



10/8 赤く染まる保健室前のコキア  
秋を感じます

## 令和7年度、折り返し

校長 角田 淳志

1年間の折り返し点を過ぎ、後期の学習活動が始まりました。この時期は、朝夕と日中、あるいは日ごとの気温差が大きくなることも多く、体調を崩したり、風邪をひいたりしやすい頃でもあります。今後、子供たちの健康管理には、十分に気をつけていきたいと思います。

10月7日は千葉市動物公園への全校遠足でした。たてわり班でそれぞれの責任を果たすことで、成長できる機会となりました。上学年と下学年のペアを中心に動物を見て回り、お弁当を食べて、仲良く楽しい時間を過ごしました。ペアの子を優しく見守る上級生、それに素直に応える下級生。みんなが楽しめるように、温かな言葉をかけたり、笑顔で応えたりしている姿があちらこちらに見られました。たくさんの光輝く笑顔を見ることができて、とても幸せな気持ちになる一日でした。

先日の前期終業式の日（10/9）、今年度4月からの“学校での”お子さんの学習や生活の様子をお伝えする通知票「かがやけ東の子」をお渡ししました。子供たちは、「学校」「家庭」「地域」と様々な場での活動を通して、成長しています。その中の「学校」という一部分、さらには1年間の学習内容の半分の評価です。個人の能力を示したものではありません。よい成績を残せた人は、これを励みに後期へのステップアップにつなげてください。また、本来の力を発揮できなかった人はその悔しさをばねに、後期は飛躍できるように頑張っていきましょう。「人生は敗者復活戦」うまくいかなかったときや失敗があるからこそ、次の成功へ向けて挑戦しようという意欲も湧いてきて大きく成長できるチャンスとなると思います。「かがやけ東の子」は後期の飛躍へのヒントにしてください。

前期終業式では、下記の合言葉「ひ・が・し」に沿って話をしました。「優しく」は、困っている友達に優しくするのはもちろん、自分の思いだけを通そうとせずまわりのお友達の思いも大切にできるように話しました。「がんばる」は、学校に来ていることだけでも十分頑張っていると言えると話しました。東小白慢の「挨拶」は、磨きがかかり更に向上しています。少し離れたところにいても、元気に大きな声で挨拶をしてくれます。秋休み明け、後期のめあてをしっかりとと考えておいてほしいと話しました。それぞれの目標をみんなが応援し合える温かな声かけのあふれる学校でありたいと思います。

「〇〇の秋」と、何をするにも最適な時期です。職員一同、力を合わせ、充実の秋となるよう、教育活動に取り組んでいきたいと考えています。子供たちがどんな“実り”を見てくれるのか楽しみです。

今後も保護者、地域の皆様にいろいろとご協力をお願いすることもあるかと思います。引き続きご支援のほど、よろしくお願ひします。



9月のとある日に、知り合いの元校長先生から「メダカを池に放させてくれないか?」との打診があり、いたくことにしました。昇降口前の池に数十匹のメダカを放しました。時々、池をのぞいてみてください。お遊戯しているかな?



「ひとにやさしく」 自分にも、お友達にも、優しくしましょう。

「がんばる」 めあてをもって頑張りましょう。

「しっかり挨拶」 しっかりと、千草台東小学校の自慢の挨拶をしましょう。